

# 常なる磐

つねなる いわ seasonⅢ  
令和 4年12月23日(金)  
その2 通算292号

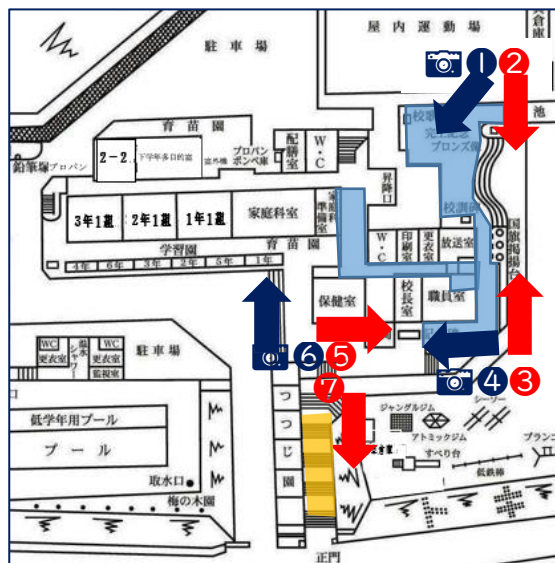
## ◇ 校内の路地タイル 1次&2次 塗装工事 完了

年内完成を目途としていた校内路地タイルの1次工事(※平面図■部分)、2次工事(※平面図■部分)とも、全て完了した。

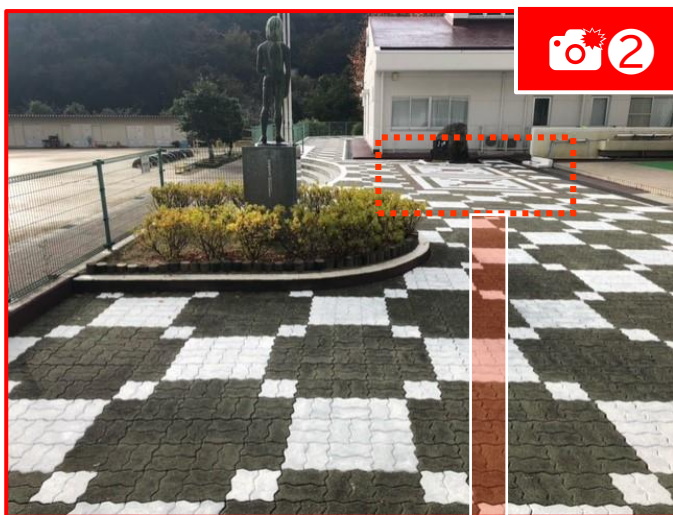
装いを新たにした学校に、身が引き締まる。

中心となって作業に従事してくれた山田校務員と野中教員補助者には、感謝しかない。

おかげで、晴れやかに令和4年を締めくくるとともに、気持ちよく令和5年の新年が迎えられる。子供たちも同様の心境であろう。



学校平面図①から⑦の位置で撮影した「明るくなった学校」を写真で紹介する。



☞ 対角線方向の方が見栄えがよい。

☞ 希望の庭のヒラドツツジが実際映える。



マンホール周辺(2年前塗装)

☞ 2年前塗装のマンホール周り。2年でこの程度の落ち着いた色になる。

☞ 児童玄関前の「お洒落なモザイク模様」が明確に。この箇所のみ「臙脂色のレンガ」が使われている。



児童玄関前の「モザイク模様」



掲揚台下部



来賓玄関を臨む



カメラ 5

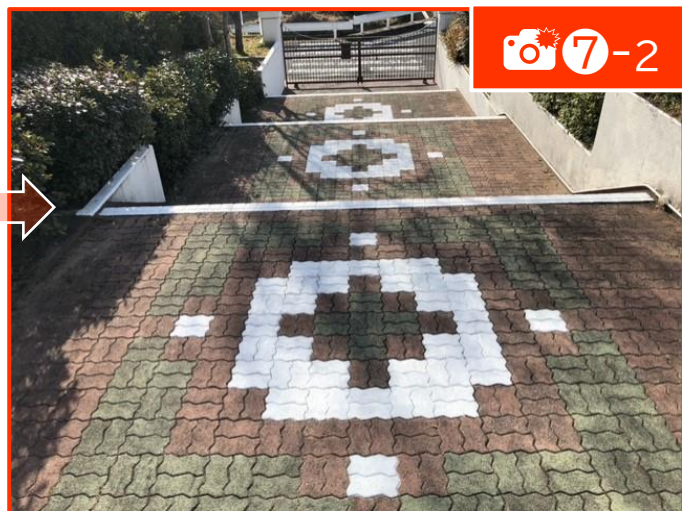
来賓玄関前 ドウダンツツジ花壇 周辺



カメラ 6



カメラ 7-1



カメラ 7-2

2年半前になる。休校期間を利用し、「校内タイルの高圧洗浄」を開始したのが、令和2年の5月。きっかけは、壊死寸前の校内のソメイヨシノに大量に繁殖していた「ウメノキゴケ」の除去作業。このときに使用したのが高圧洗浄機。（おかげで今は、ソメイヨシノも紅白梅も見事に復活した）作業時に、たまたま地面に噴射した際に、高圧洗浄機による路地タイルの「コケ落とし」効果を実感する。作業の面白さも相まって、夏季はずっとこの作業。

続いて行ったのが「校門の高圧洗浄」と「校内壁面の高圧洗浄」。これにより、表面に付着したコケに隠された「校門や壁面の塗装の劣化」を確認。この塗装劣化こそがコケ繁殖の最大の要因であることをつかみ、「校門&壁面再塗装」を行ったのが秋以降の半年。昨年は、岡崎市による校舎の全面塗装工事。市指定の業者が行うこの工事には校門の再塗装が含まれておらず、前年の施工がなければ、校舎はきれいだが校門は……。この事態を免れる。

校舎がきれいになったことで、対照的にタイルの汚れが目立つようになり、今年は「2度目の校内タイル高圧洗浄」と紹介した「タイル塗装」である。これで環境整備も区切りが付き、ほっと一息。協力者に感謝したい。